



朝来市議会

議会だより 第50号

2015（平成27）年8月5日発行



議会
10年の歩み

▲おかげさまで、議会だよりも50号

■第12回(5月)臨時会 ■第13回(6月)定例会



▲ありがとう和田山庁舎、そして夢と希望の新庁舎へ

朝来市議会10年の歩み	2～3
議会報告会、政務活動費収支報告	4～7
議案審議（6月定例会、5月臨時会）	8～10
請願審査	10
市政を問う／一般質問、賛否の状況	11～16
組合議会・特別委員会報告	17
お知らせ、特集ほか	18

10年の歩み

合併以降10年。朝来市議会として取り組んできたことはたくさんあります。設置された特別委員会とその内容をふり返って見ました。

議員発議の条例

- ① 議員倫理条例
- ② 議会基本条例
- ③ 定数条例
- ④ 議決条例

行財政改革特別委員会

行財政改革に関する調査、研究を行い、情報公開に係る開示は審議状況も重要な情報と捉え、適時適正な開示を求めた。合併による交付税減額までの具体的な行財政計画を立てる。

また、議会の在り方では、議員定数を含め、抜本的な議論を進める。

議会改革調査特別委員会

- ① 議会基本条例を制定し、議会を活性化し、市民の負託に応えるべく、政策立案機能の強化・充実を図る。
- ② 議員定数を、行財政改革の視点等から、当時の26人から20人(平成21年選挙から)へ減じた。(※平成25年からは18人)

総合計画特別委員会

第1次・第2次朝来市総合計画の策定について調査、研究を行った。朝来市基本構想や生涯現役で生き生きと暮らせる運動等に取り組む。

庁舎問題調査特別委員会 庁舎整備調査特別委員会 本庁舎整備特別委員会

庁舎整備基本計画を策定し、庁舎機能、規模や配置など具体的な整備計画の調査、検討を行った。現在も引き続き庁舎整備について調査研究を行っている。

基金運用調査特別委員会

条例に基づく各種基金の運用状況に関

する調査を行った。

基金運用問題調査特別委員会

基金運用におけるユーロ円債及び指定金銭信託の今後の対応について調査を行った。基金は、特定の目的のために設置し「確実かつ効率的」に保管運用するものである。基金問題に4年半にわたって取り組んだ結果、平成25年5月から7月にかけて損金を出さずに全面解決に至った。

創生総合戦略特別委員会

総合戦略策定に関して調査、研究を行うもので、平成27年4月から取り組みが始まった。

市議会災害対応行動マニュアルを 平成26年9月に作成

市議会災害対策本部設置規程や災害時等対応要綱を定め、災害時には当局との連携を密にし、迅速な対応を目指す。



▲平成17年4月在任特例60名の議場

朝来市議会

議員定数の 変遷	年 表	特別委員会を設置し、調査・研究をしてきた事件
平成17年 4月 定数62名	4月6日 朝来市議会 新議会発足(在任特例 60人の議員) 平成17年4月1日付で生野町、朝来町、山東町、和田山町が合併し「朝来市」が誕生しました。 旧町の議会の機能を停滞させないように、「在任特例※」を選択しました。 ※ 関係市町村の協議により、旧市町村の議員は一定の期間引き続き新自治体の議員として在任することができる。 (市町村の合併の特例に関する法律第9条第1項)	
	9月 議会議員倫理条例の制定	特別委員会名 期 間
11月 定数26名	10月23日 朝来市議会議員選挙(26人の議員が決まる)	行財政改革 H17.11.4 ~ H18.9.28
平成18年	11月より 会派制がスタート(5会派) 12月 第1次総合計画基本構想の策定 12月 医療体制確保に関する意見書を提出(県、豊岡病院組合)	総合計画調査 H18.12.1 ~ H19.2.28
平成19年	9月 安全・安心な医療体制確保に関する意見書を提出 (豊岡病院組合)	
平成20年	3月 南但・北但学区と連携校方式を維持することを 求める意見書を提出	議会改革調査 H20.2.26 ~ H21.3.30 庁舎問題調査 H20.7.2 ~ H21.10.31
平成21年	3月 但馬で初、自治基本条例を可決 3月 県内で初、議会基本条例を可決 8月9日 台風9号の豪雨災害 ~10日 10月25日 朝来市議会議員選挙(20人の議員が決まる) 11月 災害関連補正予算を可決 臨時会	基金運用調査 H21.2.18 ~ H21.3.30 基金運用問題調査 H21.3.30 ~ H21.10.31 基金運用問題調査 H21.11.2 ~ H25.9.2
平成22年	5月10日 議会報告会 開かれた議会を目指し市内12か所で開催 6月27日 市制50周年記念式典	
平成23年	6月 平和都市宣言を修正可決 12月 総合計画後期基本計画を修正可決	庁舎整備調査 H23.6.21 ~ H24.12.26 総合計画調査 H23.6.21 ~ H23.9.2 総合計画審査 H23.10.6 ~ H23.12.27 総合計画調査 H24.3.29 ~ H25.10.31
平成24年	3月 竹田城課新設 6月 仕組み債賠償請求を可決(可否同数のため議長裁決) 12月 庁舎整備調査特別委員会最終報告	基金運用訴訟 に係る審査 H24.6.15 ~ H24.6.21 基金運用審査 H24.12.26 ~ H25.2.28
平成25年	2月 議員定数改正市民アンケート実施 3月 基金条例を修正可決 3月 産業廃棄物最終処分場建設に反対する意見書を提出 3月 TPP交渉に参加しないことを求める意見書を提出 6月 仕組み債売却・解約予算を可決 9月 第2次総合計画を可決 9月 基金問題調査委員会の最終報告 10月27日 朝来市議会議員選挙(18人の議員が決まる)	庁舎整備 H25.2.1 ~ H25.9.30 総合計画審査 H25.9.2 ~ H25.9.30 本庁舎整備 H25.12.25 ~ 継続中
平成26年	2月28日 長崎県壱岐市と歴史・教育・経済パートナーシップ宣言を締結 7月 議会が山東庁舎へ移転 10月 新庁舎工事請負契約を可決	
平成27年	3月 「竹田城跡の保存と活用」について連合審査会の報告 6月27日 長崎県壱岐市と友好都市提携を締結 6月28日 市制10周年記念式典	創生総合戦略 H27.3.30 ~ 継続中

し議会報告会を開催！



▲市内5会場で開催しました。(さんとう緑風ホール)

市内5会場に
2022名が参加

朝来市では、平成21年4月1日に制定・施行した「議会基本条例」の第6条で「市民と議員が自由に意見及び情報を交換する議会報告会を年1回以上開催する」となっています。

今回で6回目となる議会報告会は、5月13日から22日にかけて市内5会場にて開催し、2022名の参加がありました。

(前年5会場、2600名)

報告会の進め方

報告会は、各会場に議長を含め9名の議員が分担して参加し、パワーポイントを活用して「朝来市の『ひと・まち・しごと総合創生戦略』について」のテーマに沿って報告しました。

終了後、報告テーマに関し参加者と意見交換を行い、市政全般に対する事柄も含め、36名の方から質問、意見をいただきました。

参加者からの主な質問・意見と回答

報告テーマに関して

問 休日保育事業の詳細について教えてください。

答 今年度は枚田みのり保育園で試験的に3歳以上の10名程度を受入れる。今後3年程度で全市のな展開が考えられており、他地域からの受入れもできるよう担当課に伝えたい。

問 通勤、通学の施策で朝来市には地理的に優位性があるのとこのだが。

答 第2次総合計画の生活圏域の根拠として通勤の移動地図が作られたが、交通の結節点である朝来市から福知山・豊岡・姫路は十分に通勤圏となっている。

問 第2次総合計画は何か頼りなく感じるが。

答 第2次総合計画は検討段階から、日本全国で広がり始めた人口減少について、市の現実を捉えた計画を作ることと議論を重ね策定された。現在、国が進める地方創生の流れを先取りした、地に足のついた計画であり、今後はシティプロモーション事業等により方向性が示される段階になってきたと考えている。

問 移住の取組みは良いことだが、移住者の多くは目的と理由を持って移住される。方向としてどんな方でも受入れるのか、それとも特定の方に焦点を絞って絞って受入れるのか。

答 5月から国より「まち・ひと・しごと創生担当部長」を迎えられたこともあり、的が絞られることを期待したい。大分県竹田市では工芸作家の移住を機に人が人を呼ぶ現象が起きており、朝来市でも独特の産業や文化で的が絞られればよいと考える。

問 朝来バル事業とはどんな内容か。

答 市内の飲食店で男女の出会いの場を作る婚活事業である。

問 あさご元気産業創生センターの内容、方向性を具体的に

教えてもらいたい。

答 産業振興は今までも行ってきたが不十分であり、行政ではできないところまでできる専門組織を設置すべきと議会から提案してきた。企業誘致も大切だが、地域内の経済を循環する内発型産業を振興することや、6次産業化の支援をセンターで行っていく。

問 ゴミ収集袋は料金が養父市と同じになったが、両市で使えないのか。

答 ゴミ袋料金の値下げは収集業務の二元化に向けた二つの段階であり、今後調整が必要なので猶予をいただきたい。

その他市政全般に関して

問 近年ふるさと納税が話題になっているが、市外の友人に紹介ができるほどの特典が朝来市にはあるのか。

答 寄附の使途も指定でき、昨年10月からは64品目から特典が選べるようになったので知人にも勧めてもらいたい。

問 マイナンバー制度について新聞等でも報道されているが、市の取組みは。

答 本年度から朝来市でも情報課を設けて取組みを始めており、今後、委員会でも議論していきたい。

開かれた議会を目指

報告テーマ〈朝来市の『ひと・まち・しごと総合創生戦略』について〉



▲ささゆりホール

問 生野工業団地でバイオマス発電が進んでいるが、山林の手入れを行い森林資源を守り活用すること等、今後の見通しは。

答 新バイオマス発電の供用開始は少し遅れる見込み。木材の調達は各森林組合に割り振るが、調達には作業道を開設し機械化を進めることも必要で、全体的な展開には検討が必要である。

問 人口減対策として、竹田城跡の観光案内も兼ねた民宿を経営する、子どもを持つ家族を呼べないか。

答 市内でも生野や竹田で民宿を経営されていることもあり研究したい。

問 竹田城跡の入場者数が減っているようだ。観覧料を500円に値上げした影響は。

答 今年のGW中の団体客は前年度と比べて大幅減になったが、逆に個人客は微増しており、個人客の竹田まちなかでの滞在時間を長くすることで、市全体への経済波及効果を目指している。観覧料の値上げの影響の分析はまだできていない。

問 新病院にMRIは設置されるのか。

答 専門医及びスタッフの確保が難しく開院時の設置は無理だが、将来的な導入に向け専用の部屋の確保はできている。

問 市内での農作物に対する鹿の被害が甚大で具体的な方策をとらないといけないのでは。

答 鹿の捕獲専従班が設置されているが、民家付近では銃が使用できないなど難しい面もあり、引き続き市当局には働きかけたい。

問 絶好のPRの機会と考えるが、議会報告会への参加者が少ないのでは。

答 音声告知放送等や広報の折込みチラシとは違った周知方法を考え、来年に向けて改善したい。

まとめ

●今回は報告テーマをつにしたことで、議会からの報告時間の短縮により、市民の発言時間を増やすことができ、会場による差はあつたものの市民との意見交換も旺盛に行われた。その結果アンケートでも、報告会を「評価」するとの回答は、引き続き6割弱となっている。

●今回も開催会場数を5会場とし、議会としてはゆとりを持って運営にあたることができた。しかし参加者数は引き続き減少し、会場での意見やアンケートでも指摘されている。区長会や自治協議会への協力依頼や、開催周知の方法などについても見直すべき内容がある。市政や議会への市民の関心も変わってきているものの、議会基本条例制定の初年に帰った取組も必要と思われる。

●議員の報告は、パワーポイントや問答形式など、よりわかりやすく努められ、市民の評価も高い。しかしアンケートでは、説明内容について「わかりやすい」との回答が、前年度に比べおよそ2割低下している。

また議会での審議内容と経過を明らかにする点では定着してきているが、「議員間において多

様な意見がある事項については、報告または応答に反映させるよう努めるものとする」ことについては課題として残されている。

いただいた意見の 取扱いについて

各会場でいただいた質問・意見等のうち、議会活動に関するものは議会運営委員会と協議し、市政に対する要望は、市長へ報告するとともに、請願・陳情の取扱いに準じて所管する常任委員会と協議することにしました。また、その取組内容については、議会広報や今後の議会報告会などで市民の方への情報発信に努めることとします。

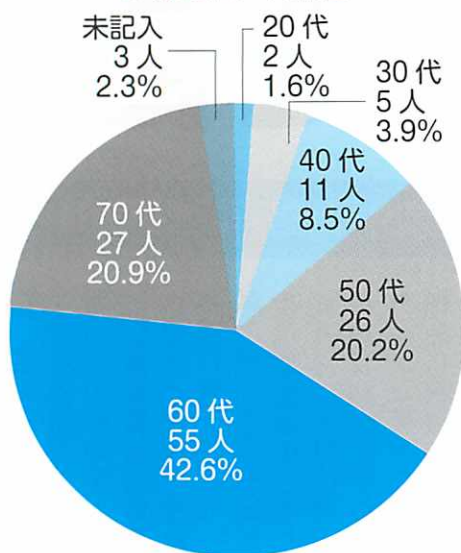


▲生野マインホール

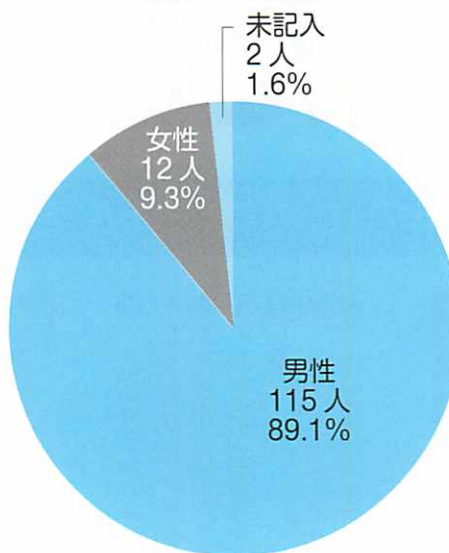
アンケート集計結果

アンケートは議会報告会参加者に配布し、5つの設問（①議会報告会の説明、②配布資料、③説明時間、④議会報告会の評価、⑤議会だよりの認知度）に回答していただく形式で行いました。また、気づいた点、議会や市政に対する意見も求めました。ここでは意見のあった設問を中心に紹介します。

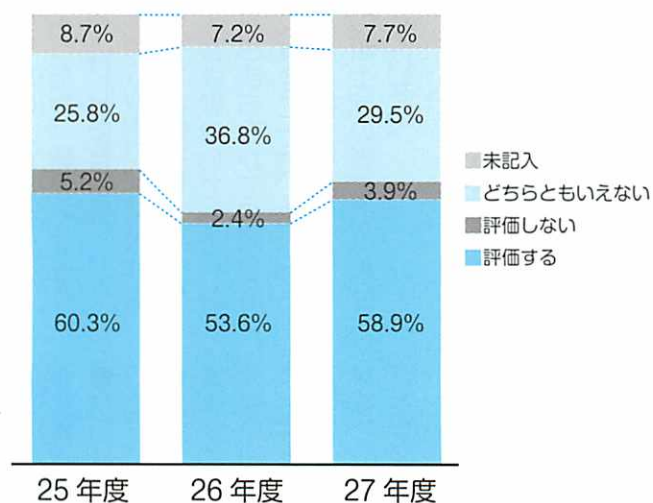
参加者の年齢層



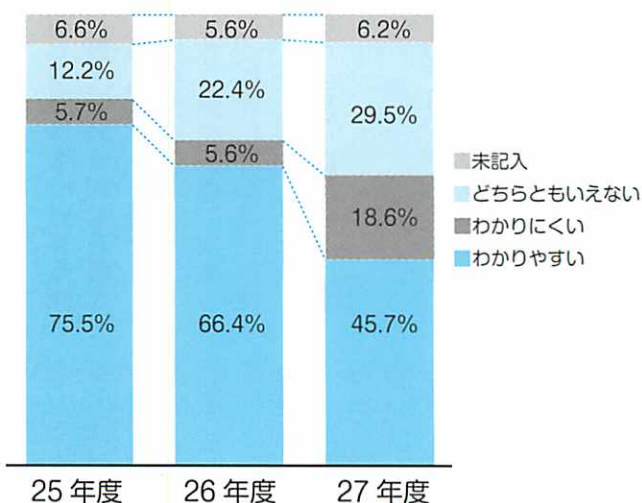
参加者の性別



報告会の評価について



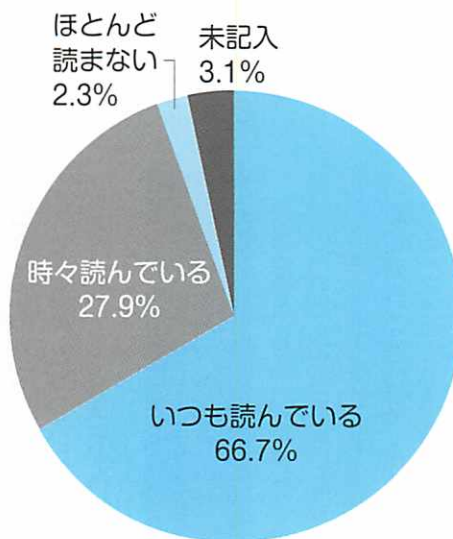
説明内容について



▲和田山農業研修センター

多数の貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。
いただいた意見を参考に議会運営に努めてまいります。

議会だよりについて



アンケートに回答していただいたほとんどの方が読んでいる結果となりました。
今後、より多くの市民の方に、より深く議会活動を理解していただけるよう編集に取り組んでまいります。

議会だよりについて

政務活動費収支報告

朝来市議会では、議員の調査研究やその他の活動に必要な経費の一部として、会派に対し政務活動費を交付しています。交付額は、会派に所属する議員1人当たり月1万円(年12万円)です。

なお、収支報告書の提出に当たり、活動事項、活動内容とその成果、日付などを議長に報告するとともに、政務活動費を使用した証拠書類として、全ての領収書等を提出することとしています。

また、飲食に係るものは原則政務活動費を充てないこととしています。(広報費、広聴費の茶菓代を除く。)

政務活動費を充てることができる経費の範囲

項 目	内 容
調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究に要する経費
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会への参加に要する経費
広報費	会派が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	会派が行う住民からの市制及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	会派が要請、陳情活動を行うために必要な経費
会議費	会派が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費

平成 26 年度 政務活動費収支報告一覧

		清風の絆	開成会	日本共産党議員団	立志会
人 数	H26.4月～H26.7月	7人	4人	2人	2人
	H26.8月～H27.3月		3人		
収 入	政務活動費	840,000	400,000	240,000	240,000
	計	840,000	400,000	240,000	240,000
支 出	調査研究費	646,376	352,067	0	250,614
	研修費	220,024	0	0	54,010
	広報費	0	0	251,974	0
	広聴費	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	3,270	0	0
	会議費	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0
	資料購入費	0	2,160	0	0
	計	866,400	357,497	251,974	304,624
収支差引残額		△26,400	42,503	△11,974	△64,624
(実質政務活動費額)		(840,000)	(357,497)	(240,000)	(240,000)

(単位：円)

		朝来市議会公明党	みらい	清正クラブ	市民の声を市政に届ける会	合計
人 数	H26.4月～H26.7月	1人	1人	1人	0人	18人
	H26.8月～H27.3月				1人	
収 入	政務活動費	120,000	120,000	120,000	80,000	2,160,000
	計	120,000	120,000	120,000	80,000	2,160,000
支 出	調査研究費	92,341	53,193	147,562	42,082	1,584,235
	研修費	31,432	77,420	15,746	0	398,632
	広報費	0	0	0	0	251,974
	広聴費	0	0	0	0	—
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	3,270
	会議費	0	0	0	0	—
	資料作成費	0	0	0	0	—
	資料購入費	0	0	26,784	0	28,944
	計	123,773	130,613	190,092	42,082	2,267,055
収支差引残額		△3,773	△10,613	△70,092	37,918	△107,055
(実質政務活動費額)		(120,000)	(120,000)	(120,000)	(42,082)	(2,160,000)

一般会計補正予算、国保条例の改正等を議決

学校給食調理場条例を
修正可決

和田山学校給食センター及び朝来学校給食センターの廃止並びに学校給食センターの設置等のため、所要の整備をするもので、最終日の本会議で修正可決しました。



▲新学校給食センター外観

審査意見

- ① 新給食センターに統合した場合のコストと、生野学校給食センター及び梁瀬小学校給食調理場を存続して3カ所運営した場合のコストをわかりやすくPTAにも説明すること。更に、国の補助金についても、その運用ルールを説明すること。
- ② 現在の安全基準に照らして、生野学校給食センター及び梁瀬小学校給食調理場がどのような状態なのか説明すること。
- ③ 新給食センターの調理において万一食中毒が発生した場合の対応について、わかりやすく説明すること。
- ④ 生野北峠が凍結・大雪等で交通渋滞が発生したとしても安全な給食を提供できるような取り組み。万が一間に合わない場合に食料品店等を利用するといった応急的な対応では限界があることから、防災教育の一環としても非常食の備蓄、保管設備

の整備など事態に即応できるよう検討されたい。

- ⑤ 新給食センターの見学等、工夫して食育や地産地消の取組を継続すること。
- ⑥ 生野学校給食センター及び梁瀬小学校給食調理場に勤務する調理員等の希望を十分聴取して対応されたい。

主な質疑

問 条例名が「給食調理場」となっているが、現在は「センター」の方が多い。適切な時期に再検討していただきたい。

答 今後委員会の中で参考とさせていただきます。

問 梁瀬と生野は工事が必要になるが、新センターで9月に全ての市立学校の給食開始に間に合うのか。

答 教育委員会事務局が当初から委員会審査の中で、9月1日稼働に向けて全力を挙げると答弁しているため、そのように理解している。

問 防災教育の一環としての非常食の備蓄をどのように認識し、備蓄の配置の状況はどうなっているのか。

答 近隣の食料品店等から調達といった応急的な措置は限

界があると委員会で判断し、防災教育の取組みの一環として当初から位置付けておく方が安定すると思われる。

職員の再任用に関する
条例の一部改正

厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い所要の条例整備をするもので、最終日の本会議で原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算
(第1号)

1億6,240万円を追加し、総額を263億9,240万円とするものです。初日の本会議で提案され、各常任委員会に分割付託し、最終日に全会一致で原案のとおり可決しました。

補正予算の主な内容

○保健センター等整備事業の周辺整備として実施する市道和田山筒江線道路改良工事の追加及び予算組替えに5,400万円を措置し、うち5,130万円は地方債をあてるもの。

○平成26年度に発行した兵庫のじぎく債(5億円)の満期一括償還に備え、減債基金積立金1億円を追加するもの。

○コミュニティ助成事業(板原婦人消防隊、糸井・栗鹿・朝来地域自治協議会)による備品購入に補助するもの。

○消防団退団者の増加に伴い消防段退職報奨金を500万円追加するもの。

○現在の英語指導助手5名に対し3名の追加配置に伴い、1,073万円追加するもの。



▲板原婦人消防隊ポンプ車

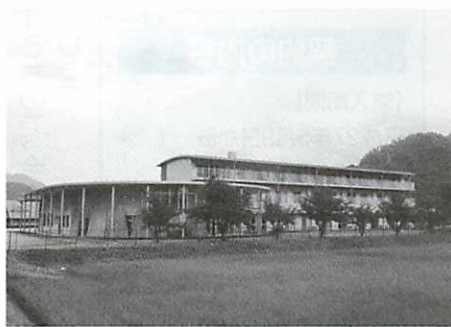
一般会計補正予算

(第2号)

3,800万円を追加し、総額を264億3,040万円とするものです。文教民生常任委員会に付託し、最終日に全会致で原案のとおり可決しました。

補正予算の主な内容

ケアハウス朝来において、介護度が重度化している入居者に対し、特殊浴槽の設置、老朽化に伴う居室のエアコンの更新、廊下のエアコンの新設等の経費を措置するもので、財源は軽費老人ホーム改修基金繰入金を充当するものです。最終日に全会一致で可決しました。



▲ケアハウス朝来

国民健康保険税条例等

の一部改正

市国民健康保険運営協議会の答申に基づき、平成27年度における国民健康保険税の税率を改正するもの。予算編成時の税額の見込みは、1人当たり医療給付費5万1,600円、後期高齢者支援金分2万2,2

討 論

反 対 討 論

00円、介護納付金分2万7,900円とし、平成26年度の決算見込みや財政調整基金の状況等を検証した結果、当初予算と同額としています。

1世帯当たりの医療給付費分と後期高齢者支援金分の合計は約12万5,000円で前年度に比べると約1,000円の引き上げとなります。

■ 条例改正で、保険税が年間1人当たり平均2,700円、介護納付金該当者は3,100円、1世帯当たりでは平均3,000円の値上げとなる。また、市が昨年定めた国民健康保険事業財政安定化計画はどのようなものか。この計画では、10年間、1世帯平均で毎年約5,000円の負担増加、10年後には5万円の引上げとなる。

一方で、10年間に総額約6億円の一般財源からの繰入れも計画されていたが、一般財源からの任意繰入れは1円も行われていない。今回値上げせず据え置くには約2,000万円あればできる。加入者は、低所得

賛 成 討 論

者や病気の多い高齢者が多く、国保税の負担は市民生活に影響を与えていることから、国民健康保険事業財政安定化計画の撤回あるいは見直しと国保基金の繰入れ、一般財源からの任意繰入れによつて国保税が引き下げられることを求める。

■ 国民健康保険運営協議会の答申に基づき、保険料を増額改定するものになっている。

5年間に約3億円の基金が減少している。料率の増額改定を行っているにもかかわらず、基金の繰入れを行わなければ収支均衡が図れなかったということである。収支が均衡していない実態と保険給付費が増加している事実を考慮すれば、料率改定を行うことは、当会計の今後の持続を前提としたものであることは理解できる。

■ 特別会計は、受益者負担で収支を合わせることが基本である。健康保険制度は国民健康保険だけではない。国民健康保険に一般財源を繰入れることは、公平性を欠く。

赤字財政の補填を優先的に考えるのではなく、制度を崩壊させない観点から、利用者

が責任を自覚し不要な医療費は抑制する努力も必要と考え、一般財源からの繰入れには反対する。

■ 答申にある「健全な国民健康保険財政の運営に必要な給付財源が確保され、かつ、税の安定性・公平性にも十分配慮して算出されているものと認められる」ということを尊重し、安定した国民健康保険財政の維持をしていく上でやむを得ない。

平成26年度水道事業 会計・工業用水道事業 会計の決算認定

地方公営企業法に基づき監査委員の意見書を付けて最終日に本会議で提出されました。企業会計決算特別委員会に付託され、閉会中の審査としました。

5月議会臨時会

(5月8日)

1日限りで開かれ、専決処分(条例等の一部改正、国民健康保険条例の一部改正)、損害賠償、保健センター・南但休日診療所建設工事請負契約の締結、財産の取得(学校給食センター厨房備品一式)が提出され、いずれも全会一致で可決しました。

条例等の一部を 改正する条例制定

市税各税目の減免申請期限の改正、軽自動車税率引上げの延期、4輪車等のグリーン化特例制度及びふるさと納税の特例制度の導入、固定資産税の負担調整措置の延長等を行う改正地方税法の公布に伴う所要の整備を行ったもので、全会一致で可決しました。

国民健康保険条例の 一部改正

地方税等の一部改正法の施行に伴い、国民健康保険税について、基礎課税額、後期高齢者支援金課税額及び介護納付金課税額の課税限度額の引き上

げ、低所得者の負担軽減の措置が講じられたため、所要の整備を行ったもので、全会一致で可決しました。

財産の取得 (学校給食センター 厨房備品一式)

朝来市学校給食センターで利用する厨房備品一式を取得するもので、全会一致で可決しました。

契約の内容

【納入期間】
平成27年5月9日から
平成27年7月31日まで
【金額】
36,708,800円
【相手方】
有限会社近畿調理機(赤穂市)

保健センター・南但休日診療 所建設工事請負契約の締結

施設の老朽化と狭隘化に対処し、地域医療の充実・強化を図るため、地域医療の核として整備される(仮称)朝来医療センターとの連携も視野に、和田山保健センター及び南但休日診療所を移転整備するもので、全会一致で可決しました。

6月定例会

請願1件を採択し、意見書を提出

■国及び兵庫県に対し、「給付制奨学金の創設を求める意見書」の提出を求める請願

兵庫県高等学校教職員組合(支部長 佐々木孝氏)から提出された請願(紹介議員 岡田和之、鈴木逸朗)で、文教民生常任委員会審査を行いました。

請願の内容は、地域の若者が経済的理由で進学をあきらめたり、進学し有利子の奨学金利用者が返済に苦慮しないようにするために当面、国及び県が給付制奨学金の創設を求めるものです。

契約の内容

【工期】
平成27年5月11日から
平成28年2月2日まで
【金額】
273,240,000円
【相手方】
福井建設株式会社 和田山支店

りました。

■少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請について

兵庫県教職員組合朝来支部(支部長 松尾 一氏)から提出された請願(紹介議員 嵯峨山 博)で、文教民生常任委員会審査を行いました。

し、授業時間や指導内容の増加、日本語指導が必要な子どもや障害のある子どもへの対応、いじめ・不登校などの課題を解決していくためには少人数教育の推進を含む計画的な教職員定数改善が必要であり、併せて教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、30人以下学級の実現と義務教育費の国庫負担を2分の1に復元するよう求めるものです。

この請願を採択する審査報告が行われ、本会議においても、全会一致で採択しました。

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための意見書

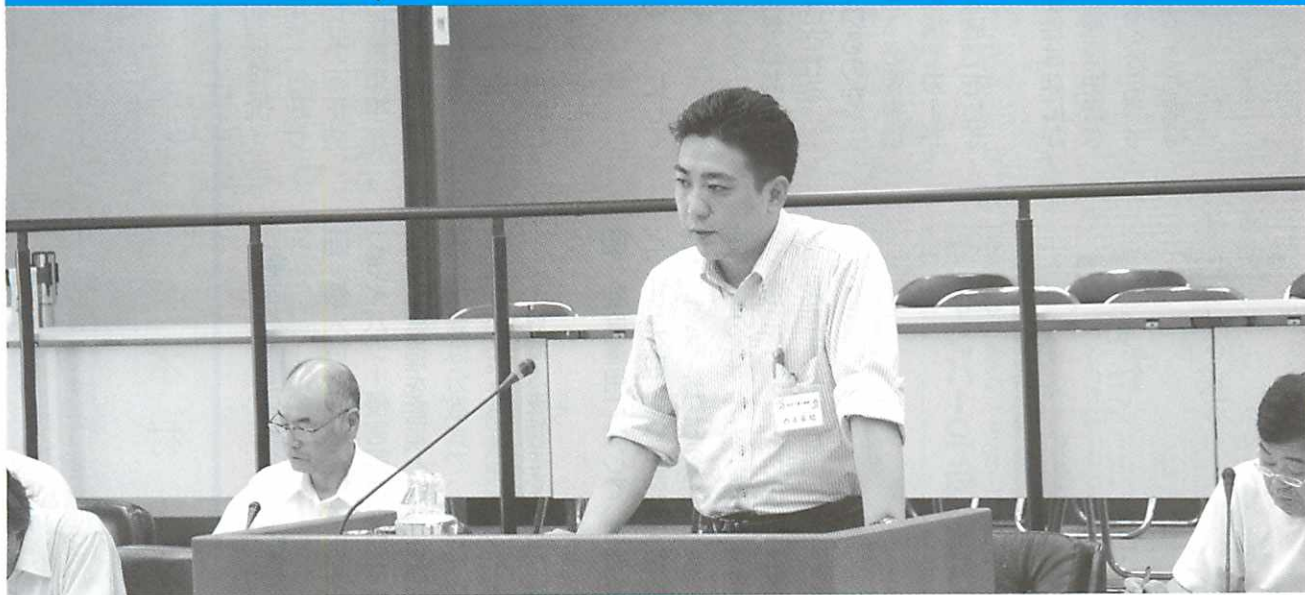
- 子どもたちの環境改善のため計画的に少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
- 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

【提出先】
内閣総理大臣、文部科学大臣、
財務大臣

10議員が登壇！

市政を問う

6月12日(金) 5名
15日(月) 5名



朝来市議会では代表・一般質問は答弁を含め1人50分以内となっています。内容は各議員が500字程度にまとめたもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されています。



観光産業の確立に向けた政策を

淵本 稔

● 駐車場料金の問題

問 竹田城の大型バス駐車場料金と予約システムの見直しが必要。姫路城、大阪、奈良、京都などの有名な観光地はどれも2,000円程度で、奈良の予約システムは1週間前にキャンセルができる。

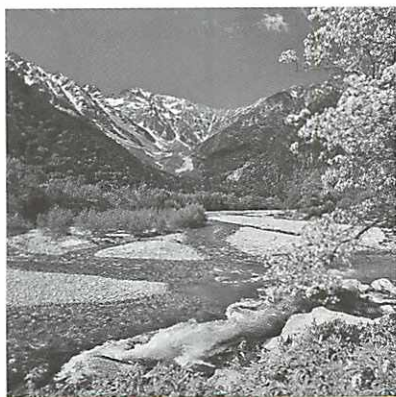
答 竹田城は5,000円の上、キャンセルは22日前までと大きなハンディがある。バス業者自体の運営が厳しい中、このような条件で他の観光地と勝負できるのか。

問 急なブームで観光客が押し寄せ、渋滞等問題が起きたため規制も必要になった。今後は良く研究したい。

答 朝来ラボにおいても、そのようなことを十分踏まえ取り組みたい。

問 市内でも先駆的な起業で成功しているのは、黒川の農家民宿まるつねさん、佐々木さんのオークヤードさんがある。農家民宿では、宿泊者の自炊が基本だが、外国人観光客等のためには、事業者が食事を提供できるような規制緩和が必要。すでに福井県や京都府では実施しているので、市も規制緩和に取り組むべきでは。

答 規制緩和についても十分研究したい。



▲有名な観光地・上高地



マイナンバー制度の施行準備は

木村 圭介

問 マイナンバー制度の利便性は、

答 来年1月からの運用で、行政サービス対象者の把握、給付の不正防止、行政手続の簡素化、作業重複が削減される。

問 高齢者へ制度の周知徹底を。

答 3月には、市のホームページ。6月には、市の広報誌でQ&Aで掲載している。全職員に制度を理解させ対応させる。

問 マイナンバーは、どのようにして受け取るのか。

答 地方公共団体情報システム機構から、今年10月から住民票のある世帯ごとに、簡易郵便で発送される。

問 手続きはどうなっているのか。

答 通知書の返信封筒で、必要事項を書いて返信すると、機構でカード作成後、市の窓口で本人確認をして受け取れる。

問 市民にとっての利便性はなにか。

答 手続きにおいて、各種証明書などの添付書類が必要でなくなる。今後、住民票等を「コンビニ」などでも取得できる可能性もある。

●個人情報漏えい不安は

問 個人情報漏えい不正利用、プライバシー侵害等が懸念され、情報の三元管理を監視と捉えるが。

答 情報は分散式で、各庁にその情報がある。その情報が、マイナンバーにより個人を特定できるだけである。

問 制度運用に際して、情報流出など、番号を取り扱う部署は細心の注意を払う必要があるが。

答 行政として現在も個人情報をもとく扱っている。取り扱いには、細心の注意を払っている。

マイナンバーって何だろう？

社会保険・税番号(マイナンバー)制度がはじまる

これから毎月、詳しく教えるよ！

最近マイナンバーってよく聞くけど何なの？

マイナンバーとは？

マイナンバーをより詳しく知るには

市では、マイナンバーに関する最新情報を提供しています。

マイナンバーとは？

マイナンバーとは、16桁の数字で、一生変えられない個人番号です。マイナンバーは、社会保険・税番号として利用されます。マイナンバーは、マイナンバーカードと紐付けられます。マイナンバーカードは、マイナンバーを証明するカードです。マイナンバーカードは、マイナンバーを証明するカードです。マイナンバーカードは、マイナンバーを証明するカードです。

▲マイナンバー、何だろう

●市内県道の整備について

問 県道溝黒竹田線は歩道がなく、観光客や自然学校の児童が車道を歩いている。歩道を整備するべきでは。

答 国としては通学路対策に重点を置いている。また、県も平成30年度までに交通量の多い通学路の歩道整備を完了させるとしている。質問の路線は通学路ではないが、利用者の多い路線であるので、県に対し一層の働きかけを行いたい。

問 県道檜倉山東線は、車の速度が出やすい区間であるが抑制する手立てがされておらず、整備が必要である。

答 本年度中に規制看板が設置される予定である。また、路面に速度抑制の措置を講じた場合、騒音・振動等が予測されるので地元の皆さまの協力が不可欠である。

●夏祭りや伝統芸能保護について

問 規模の縮小により、盆踊りや作り物等の伝統芸能が市民の目に触れる機会を逸している。この現状をどう思うか。



▲山東民謡保存会の練習風景、住民の誇りである伝統芸能の保存を！

歴史・伝統の保全を

西本 英輔

答 町なかの賑わいを取り戻す方策と参加者の安全・安心確保の両面を考慮しながら検討したい。山東夏祭りの盆踊りに関しては奉賛会や朝来警察と再調整を図ることとしている。

※その他に消防団招集の連絡手段や、朝来市埋蔵文化財センターについて質問しました。

一般質問



熱中症予防で元気な毎日を！

上田 幸広

●熱中症対策について

問 熱中症対策の一つとして、安価で設置が簡単な簡易型ミストシャワーを試験的に導入している学校が全国的に増えてきている。朝来市でも学校・子ども園などに設置してはどうか。

答 全国的にも導入があるということと十分検討してまいりたい。

問 高齢者に対する対策は。

答 熱中症患者の約半数が65歳以上の高齢者であるので、健康教室など集まる機会を捉え、熱中症予防の注意を呼びかけている。

問 ひとり暮らしの高齢者に、危険を知らせる熱中症指数計を貸与してはどうか。

答 アラームがなり熱中症の危険を知らせる指数計について、今後研究したい。

●学校外教育の助成について

問 千葉県南房総市では「塾利用助成券」を交付し児童・生徒の塾やスポーツクラブにかかる費用の一部を助成している。朝来市でも取り入れて

はどうか。

答 大阪市でも実施しているので、今後十分研究したい。

●ロタウイルスワクチン接種の助成について

問 乳幼児のロタウイルス胃腸炎の重症化を防ぐワクチン接種の費用助成をおこなうべきと思うが。

答 現在、県内で市町6団体が費用の一部助成を行っている。朝来市では、医師会等と協議しながら検討していきたい。

※その他に「空き家対策」について質問を行いました。



▲携帯熱中症計
高齢者の熱中症予防に有効



朝来市での
コンパクトなまちづくりについて

波多野 優

問 朝来市では、立地適正化計画を策定してコンパクトなまちづくりを進めようとしている。その基本的な方針を聞く。

答 コンパクトなまちづくりという言葉は、異なるイメージをもたれやすい。一極集中ではなく、合併前の旧町の役場周辺など複数の生活拠点間の連携を図る。多極ネットワーク型のコンパクト化である。また、拠点への過度な集約を推進するものではない。強制的ではなく時間をかけながら居住の誘導を進めていくものである。

立地適正化計画は、都市計画区域内で策定するが、本市の計画区域内の面積は全市域の12%、人口では40%である。まちづくりの方向性を都市計画区域内のみで検討するには面積率が低く、全市的な計画づくりを行うもので、都市計画区域外の地域についても検討する。

問 都市機能誘導区域を設定してその区域に都市機能を誘導するなら、設定区域外では、施設整備が制限されるのか。また、居住誘導区域外では、一定の住宅建設を制限することにな

るのか。

答 都市機能誘導区域外での都市機能施設整備は、届出の対象となる。居住誘導についても、区域外では定規模以上の住宅建設が、届出の対象となる。

問 コンパクトシティ化を進めるにあたり、徐々に住みにくくなる周辺の地域での生活をどう維持するのか。

答 計画区域外の市民の生活を考えずに、朝来市そのものが成り立つものではない。お住まいの地域における行政の対策は、今後においても継続してやらなければならない。



▲立地適正化計画の基礎となる都市計画区域



伝統行事の存続が危機に瀕している

小出 信 篤

問 市内には多くの地域行事が存在するが、各地域で開催に大変苦労されているのが現状と思うが。

答 一生懸命、諸行事の継承に努力されている現状には心から敬服し、今後こそつした地域の伝統文化が継承されることを望んでいる。

問 歴史ある地域行事は、朝来市の貴重な伝統文化資産であると考え、我々にはこれらの資産を守り、次の世代に引き継ぐ責任があると考えが。

答 市内には数多くの伝統文化があり、一律的に行かない部分もあるが、行政としてでき得ることは、やらねばならないと思っている。

問 但馬三大夏祭りとして歴史ある和田山地蔵祭りの開催が年々厳しくなっているが。

答 旧和田山町の時代から、和田山夏祭りとして夏の最後を飾り賑やかに開催されてきたが、最近いささか寂しい気がしている。主催することは難しいが、地域の方々と相談させていただき出来る努力はして行く。

問 伝統行事を今の規模で存続できるか。規模を縮小するかの瀬戸際にあると考えるが、支援策の再検討の考えは。

答 色々な要素が重なり無理が生じていると思う。地域の若い人たちにも参加いただける実行委員会的なものも必要ではと思う。行政として出来ること、やるべきこと。必要が生じたときには、地域の方と相談しながら協力することはやぶさかでない。



▲夏の夜空を彩る打ち上げ花火



破綻している総合計画を総括せよ

吉田 俊 平

●第2次朝来市総合計画について

問 市の現時点での推計人口はどのくらいか。

答 31,000人を切っている。

問 計画開始後たつた1年で最終年次である平成33年の人口目標31,000人を切ってしまった可能性がある。この事態をどう総括するのか。

答 実態と乖離があるのは当然の事だろうと考えている。

問 現時点の国調が31,000人を切った場合、封鎖型で25,000人の人口が維持できるのか。

答 …(質問に対する答弁なし)

問 31,000人の人口目標が達成出来ない事を庁内で議論しているのか。

答 単に人口だけで基本構想を構成しているのではなく、総体としての基本構想であるという事をご理解いただきたい。

問 聞いた事に対する答弁となっていない。視点を改めて聞く、人口目標は必要条件か、十分条件か。

答 必要条件であり、十分条件である。人口目標が必要条件であれば、

人口31,000人を維持出来なければ総合計画の目標も達成出来ないことになる。主張されている論理は破綻

●日本遺産について

問 「生野銀山と義挙・維新と近代化の魁」などと題して登録を目指すべきと考えるが。

答 現在、文化財をパッケージ化し、ストーリーを構築中であり、提案についても考えていきたい。



▶人口目標31,000人(平成33年)は達成(維持)不可能

一般質問



市民から戦闘犠牲者を出すな

岡田 和之



個人情報危機に晒すマイナンバー

鈴木 逸朗

問 国会審議中の平和安全法制は、戦争法案であり、日本を海外で戦争する国に作り替えるもの。日弁連や多くの憲法学者が憲法違反だと明言している。市の平和都市宣言にも反する内容ではないか。

答 宣言では、憲法9条の恒久平和を謳っている。国会では、立憲主義に基づき十分に議論されると考える。

問 法案は、自衛隊の在り方を大きく変える。市民から戦闘の犠牲者一人も出してはならないと考えるが。

答 朝来市出身の自衛官は、38名。外交で争いを未然に防ぐ努力を願う。

問 自治体の役割は、憲法に則り住民の生命・安全を守り、住民福祉の増進を図ること。戦争法案の強行はこの役割に反し、あまりに乱暴だ。市長は反対を表明すべきだ。

答 憲法9条を残したまま法案が議論され、専門家筋から憲法違反との多くの意見が出されている。国会で更なる議論がなされていくと考えている。

●校田小幽香山のヤマビル対策を

問 生徒が入山できない状況。幽香山は市の財産。有効な方策を取るべきと考えるが。



▲ヤマビルが多くて入山できない幽香山

答 対策が必要な状況だと考えている。

●南但クリーンセンターの在り方の見直しを

問 設備の事故、維持費高騰やごみ減量の足かせとなる処理方式採用は失敗。運営の見直しが必要では。

答 総括は時期尚早。最良の状態で管理することが責務と考える。

●日本年金機構で個人情報大量流出

問 米国の社会保障番号（SSN）制度では、なりすまし犯罪被害が1,170万件発生（2006～08年）している。そのため国防総省は、職員のSSNを使用中止（2011年）し、独自の本人確認番号へ移行した。

マイナンバー制度は情報流出4つのリスク（危険性）がある。①100%情報漏えいを防ぐ完全なシステムの構築は不可能。②意図的に情報を盗み売る人間がいる。③一度漏れた情報は流通、売買され取り返しがつかない。④情報は集積されるほど利用価値が高まり、攻撃されやすくなる。このリスクについての認識は。

答 どれだけのことをすれば完全なのかなかなか見つけにくい。

●試算では、従業員100人で初期費用1,000万円、維持経費400万円

問 市の負担にはどのようなものがあるか。

答 制度運営の負担としてシステム改修などで6,000万円程度（交付税措置）。市役所が事業所として個人番号管理の事務や、管理システムの費用を要す。

●本年は情報無断提供でなく閲覧で対応

問 市は自衛官適齢者名簿を提供してきたが、今年度の対応は。

答 他市町の回答は40団体中25団体で閲覧。今年も依頼が来ているが、閲覧の方法で対応したい。

問 情報提供は全国的では約3割。情報提供も閲覧もしない方向を求めるが、閲覧があった場合、その事実は公表するのか。

答 公表する考えはない。（後日、総務常任委員会で開催事実を公表するとの回答があった。）



▲マイナンバー制度などに対応するため設置された情報課



竹田城を軸とした観光政策は失敗か？

日 下 茂

●地方創生には市長の積極的な発想が必要だ。

問 ふるさと納税の還元率を高める、インバウンド対象とした城崎温泉等へアンテナショップや免税店を出す考えはないか。

答 今は考えていない。必要を感じれば、考えていく問題と思う。

●竹田城の観光客大幅減は市の責任

問 入山規制を間際になつて発表したり、二転三転する。観光会社にとつて迷惑な話だ。規制看板も禁止が多く、「おもいやり」に欠けている。知恵を出せば他の解決法もある。

答 観光客を維持するには、施策を講じなければならぬ。再び訪れたいと思わせる発想も必要と考える。入山規制には、地域の祭りとの調整で対応した。安全確保、交通規制も考えた。

問 正式名称が竹田城か、竹田城跡か、誰か説明できないか。日本百名城でも竹田城である。根拠を示すべきである。

答 穴太積みによる特徴ある石積みとなされた跡ということで解釈している。



▲竹田城か、竹田城跡か？

問 あさぎ元気産業創生センターは、目的や組織も弱体で成功は疑問だ。組織と中身を強化すべきで、継業支援も目的の一つとすべきと考えるが。

答 そのあたりのアドバイス、情報交換をいただく事が必要で、ASA GO大学・女学院等の発想にも協力、支援をお願いしたい。

5 月臨時会及び 6 月定例会で審議した議案に対する賛否の状況

議 案 名	議 員 名																能見勇八郎
	嵯峨山博	吉田俊平	岡田和之	鈴木逸朗	上田幸広	川井康充	小出信篤	太田則之	木村圭介	丸尾行子	波多野優	森下恒夫	西本英輔	日下茂	淵本稔	村田公夫	
承認第2号 専決処分の承認を求めることについて(朝来市税条例等の一部を改正する条例制定について)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第3号 専決処分の承認を求めることについて(朝来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号 損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号 朝来市保健センター・南休日診療所建設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号 財産の取得について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第2号 朝来市教育委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第3号 朝来市和田山町桑原産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号 朝来市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第53号 朝来市学校給食調理場条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号 平成27年度朝来市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号 朝来市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号 平成27年度朝来市一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第5号(平成26年) 国及び兵庫県に対し、「給付制奨学金の創設を求める意見書」の提出を求める請願	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2016年度政府予算に係る意見書採択の要請について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第6号 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成した議員は○ 反対した議員は● 欠席した議員は欠 ※議長には表決権がありません。

南但広域行政事務組合議会報告

第123回定例会

平成27年2月10日～27日

一般会計予算を含め、14議案が提案され、審議のため本会議が2日、委員会が1日、特別委員会が1日開かれました。

一般会計及び電算事業特別会計は賛成多数で可決しました。行政手続条例を含む12議案は、いずれも全会一致で可決しました。

公立豊岡病院組合議会報告

第1回定例会

平成27年3月4日～27日

第1回定例会では、事業会計資本金額の減少（平成26年度期首）及び資本余剰金の処分（平成26年度期首）を含む4議案が提案され、審議のため総務委員会に付託されました。審査報告があり、いずれも全会一致で可決しました。

創生総合戦略特別委員会

視察報告書

1 調査事項及び調査先

- ・まち・ひと・しごと創生に関する内閣府内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

2 調査経過

前記事項を調査するため、平成27年4月24日に視察を行った。

3 調査の概要

内閣府内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局において、参事官より説明を受けた内容は次のとおり。

（1）日本の人口推移と長期的な見通し

①「人口問題を語るのにはタブー」から直視せざるを得ない状況に

合計特殊出生率が、2030年に1.8程度、2040年に2.07程度（2020年には1.6程度）まで上昇すると、2060年の人口は、1億2000万人となり、長期的には9,000万人程度でおおむね安定的に推移すると推計される。また、1.8や2.07になる年次が5年ずつ遅くなると、将来の定常人口は概ね300万人程度少なくなる。

②人口安定化と人口構造の若返り

現状の少子化が続けば、人口構造は高齢者部分が膨らみ、高齢化率は、現在の23%が約4割を超えることになる。少子化の流れを変え、人口減少に歯止めをかけて、人口規模を安定的に推移させることで、年齢構成の若返りと年少人口比率

を上昇させる。

③地域により異なる将来人口動向

東京圏や中核都市、特別市は、人口は緩やかに減少していくが、今後2040年までは高齢者人口のみが増加していく傾向が続く第1段階となる。一方、人口5万人以下の市町村では、人口減少は進んでいくが、高齢者人口は横ばいか、微減の状態を示している。過疎地域市町村では、人口減少も急激に進んでいくが、高齢者人口も減少していく。

第1段階＝高齢化人口増加、

年少・現役人口減少

第2段階＝高齢人口維持・微増、

年少・現役人口減少

第3段階＝高齢人口減少、

年少・現役人口減少

東京圏のみの三極集中が続いており、転入超過である。一方で出生率が極めて低い。（名古屋圏、大阪圏でさえ増減は少ない。）10万人の転入超過（特殊出生率：東京1.13、神奈川・埼玉・千葉県1.33）

（2）まち・ひと・しごと創生

「長期ビジョン」と「総合戦略」の策定

①総合戦略（2015年～2019年）

・しごと・ひとの好循環づくりを目指して、地方における安定した雇用、地方への新しいひとの流れをつくる。若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える。

・好循環を支える、まちの活性化するために、時代に合った地域づくり、安心な暮らし、地域と地域を連携する。

②中長期ビジョン（2060年を視野に）

・人口減少問題の克服として、2060年に1億人程度の人口確保を目指すこと。

・人口減少の歯止めとして、国民の希望が実現した場合は、出生率が1.8となり人口減少に歯止めがかかる。

・東京一極集中の是正は、地方・東京の転入均衡を維持する。

・成長力の確保は、2050年代に実質GDP成長率1.5～2%程度を維持する。

③地方への多様な支援と切れ目ない施策の展開をしていく

・財政支援＝地方版総合戦略の策定、実施の財政的支援

・人的支援＝地方創生人材支援制度、情報支援＝地域経済分析システム

④地域版総合戦略の策定

戦略の策定には、成果目標・重要業績評価指標（KPI）を利用し、5年後の基本目標の設定と、住民にもたらされる便益に関する数値目標を設定する。

⑤地域経済分析システム（RESAS）の活用

現在および未来の人口構成、人口流出先、流入元等、地域経済に関するビックデータにより地域の状況や特性を分析できる、地域経済分析システム（RESAS）を十分に利用していくことで、地域の特性を分かり易く見える化し、地域の特性を踏まえた地方総合戦略を策定すること。地方自治体の担当者には、より専門のデータを分析することや検索できることで、システム利用の力ギとなる。朝来市の持つ特性を、地域版総合戦略として十分に練り上げることで、長期的に有利性を持ち、中身の充実した戦略を策定する。

産業建設常任委員会調査報告書

平成27年度朝来市一般会計予算の審査時に執行留保の意見を付したあさご夏祭りの補助金について、次の意見を付して予算執行を認めるものです。

審査意見

本年度のあさご夏祭りの開催については、関係団体とも調整が行われ、内容の精査の結果、適正な補助金額が概ね確定したことから、例年の交付相当額の支出を認めるものとする。

また、前年度同様に天候不順により順延又は中止した場合、諸経費について一定額の追加補助も考えられるが、他の地域の祭り等でも同様の場合が起こり得ることから、その都度取扱いが変わることがないよう、経費補填を目的とする補助については、基準を設けるよう求めるものとする。

9月定例会の予定

- 9月 1日(火) 議案審議
- 2日(水) 議案審議
- 9日(水) 一般質問
- 10日(木) 一般質問
- 11日(金) 一般質問
- 29日(火) 決算特別委員会
- 10月 2日(金) 議案審議

- 本会議及び決算特別委員会は、ケーブルテレビで生中継します。
- 本会議・委員会の傍聴などお問合せは議会事務局へTEL 676-2082

特集 ようこそ朝来市へ!! ⑧

後藤 ことろう

良史さん

生野銀山のすぐ近くに、小さな古民家を改装したおもちゃと漫画の博物館をオープン
(生野町奥銀谷在住)

Q 博物館を始めたきっかけは?

A 元々若いころから漫画や映画、特撮などに興味がありたくさんの関連資料を収集していました。将来「自分の思い出と共に過ごせる様な博物館を作りたい。」という思いが歳を重ねるごとに強くなり、たまたま参加したイベントで「空き家バンク」の存在を知りました。

安く家が購入できるのなら夢を実現できるかも知れないと思いました。

Q 朝来市を選んだ理由は?

A 昨年まで約30年東京に住んでいましたが、出身は西宮です。兵庫県に兄弟もいるので兵庫県内の「空き家バンク」で探しました。

その中で利便性がよく、近くに観光スポットも多い生野町に、希望どおりの物件が見つかったので移住を決めました。

Q 転入時に不安はありませんでしたか?

A 多少はありましたが、住んでみると全国から人が集まった鉾山町という生野の特性のせい、溶け込みやすく、皆さん温か



怪獣たちに囲まれた後藤さん

で親切です。自宅で採れた野菜などよくいただきます。

Q 最後に博物館の見どころを教えてください。

A 今年4月にオープンしました。古民家を改装してそれぞれの部屋に漫画・特撮・映画・アニメのコーナーを作り、企画展も随時開催中です。漫画も好きなだけ読んでいただけるスペースも用意しています。子どもさんから高齢の方までぜひお越しください。